

## 情報公開文書

課題名 :Point Prevalence Survey を用いた高度急性期病院の感染症および抗菌薬使用の状況調査

研究期間:倫理委員会承認日 ~ (西暦) 2022年 12月 31日

### 1. 研究の対象

2020年7月3日 朝8時の時点で、当院に入院中の全ての患者さん

### 2. 研究目的・方法

抗菌薬を使い続けていると、細菌が薬に対する抵抗力を高め薬が効かなくなることがあります。このように薬への耐性をもった最近のことを薬剤耐性菌といいます。薬剤耐性菌による感染症は治療に難渋する場合があります、世界的に大きな問題となっています。現在国内でも様々な薬剤耐性菌対策に関する施策が講じられています。各医療機関においても適切に抗菌薬を使用し、薬剤耐性菌を増やさないために、薬剤耐性菌および抗菌薬の使用量を継続的にモニタリングし、薬剤耐性菌の変化や抗菌薬の使用状況の的確な把握に努めています。

各医療機関において抗菌薬が適切に使用されているかどうかを評価するために用いられる指標は100人あたりの抗菌薬の使用量や、平均使用日数を調べるなど様々な手法があります。今回当院では、ある1日(2020年7月3日)における抗菌薬の患者さんへの使用状況、抗菌薬による副作用等の発生状況について調べる Point Prevalence Survey という手法を用いて、抗菌薬の使用状況を横断的に調査し、患者背景、使用薬剤や培養菌、副作用(抗菌薬関連感染症を含む)等のデータを分析する研究を行います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:年齢、性別、病名、合併症、カテーテル等の体内挿入物の有無、医療関連感染症(入院の原因となった病気とは関係なく入院中に感染症を起こしてしまうこと)の有無、抗菌薬の使用状況や副作用の有無、薬剤耐性菌の検出の有無等

上記調査後、医療関連感染症があった方や1回以上の抗菌薬の使用があった方について、感染症の種類や原因菌についてさらに調査を行います。

### 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

### 5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

### 6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

静岡県浜松市中区富塚町 328

TEL:053-453-7111

浜松医療センター薬剤科 山崎 郁真(研究責任者)